



平成 26 年 5 月 30 日

各 位

会社名 中外鉱業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 葛山 稔
 (コード番号 1491 東証二部)
 問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲
 (TEL. 03-3201-1541)

(訂正・数値データ訂正)「平成 26 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 5 月 14 日に公表いたしました「平成 26 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。
 また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。
 なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正理由

連結財務諸表「連結損益計算書」について、記載に一部誤りがありましたので訂正を行うものであります。

2. 訂正箇所

サマリー情報

【訂正前】

1. 平成 26 年 3 月期の連結業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期	14,578	△25.5	468	△68.8	446	△70.0	△180	—
25 年 3 月期	19,556	△25.0	1,502	611.8	1,485	931.3	241	—

(注) 包括利益 26 年 3 月期 246 百万円 (△81.8%) 25 年 3 月期 1,355 百万円 (—%)

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26 年 3 月期	△0.62	—	△2.3	5.0	3.2
25 年 3 月期	0.83	—	3.2	16.7	7.7

(参考) 持分法投資損益 26 年 3 月期 一百万円 25 年 3 月期 一百万円

3. 平成 27 年 3 月期の連結業績予想 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	8,500	7.4	120	△70.1	70	△82.6	0	△100.0	0.00
通期	18,300	25.5	380	△18.8	290	△35.0	60	—	0.21

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年3月期の個別業績（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	11,524	△31.6	△514	—	△468	—	△564	—
25年3月期	16,843	△29.8	376	—	383	—	241	—

【訂正後】

1. 平成26年3月期の連結業績（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	14,578	△25.5	468	△68.8	415	△72.1	△180	—
25年3月期	19,556	△25.0	1,502	611.8	1,485	931.3	241	—

(注) 包括利益 26年3月期 246百万円 (△81.8%) 25年3月期 1,355百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	△0.62	—	△2.3	4.6	3.2
25年3月期	0.83	—	3.2	16.7	7.7

(参考) 持分法投資損益 26年3月期 一百万円 25年3月期 一百万円

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	7.4	120	△70.1	70	△82.6	0	△100.0	0.00
通期	18,300	25.5	380	△18.8	290	△30.1	60	—	0.21

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年3月期の個別業績（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	11,524	△31.6	△514	—	△499	—	△564	—
25年3月期	16,843	△29.8	376	—	383	—	241	—

2 ページ 1. 経営成績・財政状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析

【訂正前】

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、輸出の増加や円安・株高が進行し、景気に持ち直しの動きが見られるものの、円安による原材料価格の上昇、中国を始めとする新興国経済の減速等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、6月下旬に米国の量的緩和早期縮小懸念に伴い大幅に下落したものの、資産保全としての有用性が再認識されたことによりその後は上昇基調で推移いたしました。売上高においては、金原料の集荷量が当初見込みを下回ったことから前年同期に比べ減少いたしました。宝飾市況においては、富裕層を中心に高額ジュエリーの販売が活況だったものの、個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、低金利の継続や住宅ローン減税等の政策支援、消費税率引上げに伴う駆け込み需要等、住宅購買意欲は回復基調にあるものの、資金調達環境に改善の兆しはみられず、依然厳しい状況のもと推移いたしました。機械事業においては、米国市場は堅調に推移し、欧州に景気回復機運が高まっているものの、中国を始めとする新興国経済の成長鈍化等が影響し、中古工作機械業界においても厳しい受注環境のもと推移いたしました。投資事業においては、有利で安定とした運用を基本としており、金先物価格の上昇により運用益を計上したことが寄与し好調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は14,578,628千円(前年同期19,556,218千円 25.5%減)、営業損益は468,911千円の利益(前年同期は1,502,380千円の利益)、経常損益は446,302千円の利益(前年同期は1,485,816千円の利益)、当期純損益は180,460千円の損失(前年同期は241,607千円の利益)となりました。

(中略)

【訂正後】

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、輸出の増加や円安・株高が進行し、景気に持ち直しの動きが見られるものの、円安による原材料価格の上昇、中国を始めとする新興国経済の減速等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、6月下旬に米国の量的緩和早期縮小懸念に伴い大幅に下落したものの、資産保全としての有用性が再認識されたことによりその後は上昇基調で推移いたしました。売上高においては、金原料の集荷量が当初見込みを下回ったことから前年同期に比べ減少いたしました。宝飾市況においては、富裕層を中心に高額ジュエリーの販売が活況だったものの、個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、低金利の継続や住宅ローン減税等の政策支援、消費税率引上げに伴う駆け込み需要等、住宅購買意欲は回復基調にあるものの、資金調達環境に改善の兆しはみられず、依然厳しい状況のもと推移いたしました。機械事業においては、米国市場は堅調に推移し、欧州に景気回復機運が高まっているものの、中国を始めとする新興国経済の成長鈍化等が影響し、中古工作機械業界においても厳しい受注環境のもと推移いたしました。投資事業においては、有利で安定とした運用を基本としており、金先物価格の上昇により運用益を計上したことが寄与し好調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は14,578,628千円(前年同期19,556,218千円 25.5%減)、営業損益は468,911千円の利益(前年同期は1,502,380千円の利益)、経常損益は415,801千円の利益(前年同期は1,485,816千円の利益)、当期純損益は180,460千円の損失(前年同期は241,607千円の利益)となりました。

(中略)

9ページ4. 連結財務諸表「(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書」

【訂正前】

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
(中略)		
営業利益	1,502,380	468,911
営業外収益		
受取利息	193	174
国庫補助金収入	71,033	55,186
保険金収入	2,013	31,598
その他	7,578	12,203
営業外収益合計	80,818	99,262
営業外費用		
支払利息	13,928	25,637
休山管理費	82,938	89,242
その他	514	6,990
営業外費用合計	97,381	121,871
経常利益	1,485,816	446,302
特別利益		
固定資産売却益	156	35,574
負ののれん発生益	—	4,488
特別利益合計	156	40,062
特別損失		
減損損失	78,602	173,465
商品被害損失	—	30,258
特別損失合計	78,602	203,723
税金等調整前当期純利益	1,407,370	282,641
(中略)		

【訂正後】

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
(中略)		
営業利益	1,502,380	468,911
営業外収益		
受取利息	193	174
国庫補助金収入	71,033	55,186
その他	9,591	13,401
営業外収益合計	80,818	68,761
営業外費用		
支払利息	13,928	25,637
休山管理費	82,938	89,242
その他	514	6,990
営業外費用合計	97,381	121,871
経常利益	1,485,816	415,801
特別利益		
固定資産売却益	156	35,574
保険金収入	—	30,500
負ののれん発生益	—	4,488
特別利益合計	156	70,563
特別損失		
減損損失	78,602	173,465
商品被害損失	—	30,258
特別損失合計	78,602	203,723
税金等調整前当期純利益	1,407,370	282,641
(中略)		

以 上